



### 島津退職者組合協議会 結成50周年記念総会

木村正次 協議会会長



島津退職者組合協議会は1976年2月に結成され、今日まで地域支部、専門部などの活動と毎月機関紙「やすらぎ」を発行し、会員に原則として手配りによる配布を行っています。活動の基本としてきましたが、現在会員数は470名と激減しています。

結成50周年を迎えた今年、例年の親睦総会を記念式典として4月19日に京都「からすま京都ホテル」にて開催しました。来賓にはJAMシニアクラブ宮本会長、労組松本組合長、島津製作所の青山専務を迎えて、会員、来賓120名の参加のもと盛大に開催しました。活動への功労者表彰、

白寿・喜寿祝いなどの記念式典の後、親睦総会を行い抽選会などを行い無事に終了しました。

### 兵庫 合同交流ゴルフコンペを開催

切山義行 副会長

兵庫シニアクラブは、春恒例となった山陽兵庫県連絡会との合同交流ゴルフコンペを、4月24日、来賓2名・現役17名・シニア16名、総勢35名参加のもと、神戸市北区のダニロップゴルフコースにおいて開催しました。

前日からの雨も上がり、曇り空で少し肌寒い一日となりましたが、アウト5組・イン4組が9時同時にスタート、日頃溜まったストレス発散に、ゴルフボールが誰の顔に見え



たかは定かでありませんが、皆さん怪我もなく楽しい一日を過ごされました。

結果については、シニア会員（ヤンマーOB）が優勝、昨年に続き大会2連覇を達成されました。



### 石川 竹林ボランティアに参加

古田政敏 事務局長

石川シニアクラブは、例年春と秋に2回開催される石川県退職者連合会の石川県橋立自然公園での竹林ボランティアに参加しています。橋立自然公園は、越前加賀海岸国立公園の一部である橋立丘陵地にあり、北前船記念館など重要伝統的建造物群保存地区に隣接しています。公園内には散策路やグラウンドゴルフ・パークゴルフの広場のほか、

大きな竹林・池・四阿（あずまや）などがあり、遠足や自然観察、里山保全活動など、さまざまな体験活動の場となっています。

今年の春の竹林伐採は、4月24日に開催され、地元大同工業・江沼チェン・東振から参加者全体43名の半数弱の19名が参加し、JAMの参加がないと成り、石川シニアクラブとしても力を入れた活動の一つとなっています。

本年は、タケノコも表作で豊作の年です。9時半の開会式の石川退連高会長挨拶の後、タケノコ堀の部隊と竹林の伐採整備の部隊に分け、前日の悪天候と違い晴天の中、作業に取り掛かりました。

密集した竹は、一坪3本程度を目安に伐採すること、日光も入り健全な竹林になります。特に上部が枯れた竹を狙って作業を進めました。直径15cm以上の竹は重量もあり、扱いにくく体力がいる仕事ですが、石川シニア前会長の79歳になる山村さんは、元氣一杯で作業されていました。70歳はまだまだヒョッコです。一人10本程度伐採し、300本の伐採を終え、11時30分に終了。タケノコ部隊は、猪の被害で苦戦しましたが、250本

収穫し、一人5本の竹の子と米ぬかのお土産を持って帰路につきました。追伸.. 3月24、25日に富山石川シニアクラブの四役の交流会を開催しました。両シニアクラブの活動内容・課題を共有し、JAM北陸の現役の皆さんと課題を共有すべく今後活動を展開します。

### 埼玉 「清澄庭園」「深川江戸資料館」を見学

山田順康 事務局長

「好天に恵まれた4月22日26年度埼玉シニアクラブ会員交流会が14名の参加で行なわれ、清澄庭園の散策と深川江戸資料館の見学を行いました。

清澄白河駅に10時30分集合し名石の庭として名高い清澄庭園へ向かいます。庭園面積は37,434㎡、三菱財閥の岩崎家三代が築いた明治の代表的「回遊式林泉庭園」です。今回は江東区観光ボランティアの森野辺照美さんから庭園の歴史や見どころについて解説して頂きました。

清澄庭園は紀伊國屋文左衛門の屋敷跡とも伝わりますが、享保年間に関宿藩主久世大和守の下屋敷となり庭園のもとが造られました。その後、明治11年に岩崎彌太郎が取得し、大泉水をはじめ築

山や全国から取り寄せた名石を配して「深川親睦園」を開園、震災後の大正13年に東半分が岩崎家から東京市に寄付され現在都立文化財庭園となっています。

清澄庭園散策後は深川江戸資料館に向かい、途中で東京都指定有形文化財の地藏菩薩坐像と松平定信の墓がある靈巖寺を拝観しました。

深川江戸資料館は江戸時代の深川佐賀町の町並みを実物大で再現され当時の庶民の暮らしが分かります。

今回の交流会で旧財閥の凄さや火事の多かった江戸庶民の知恵を生かした生活は、現在にも通じるのではないかと感じました。

